

# 2023年2月期 第3四半期 決算説明資料



2022年10月4日

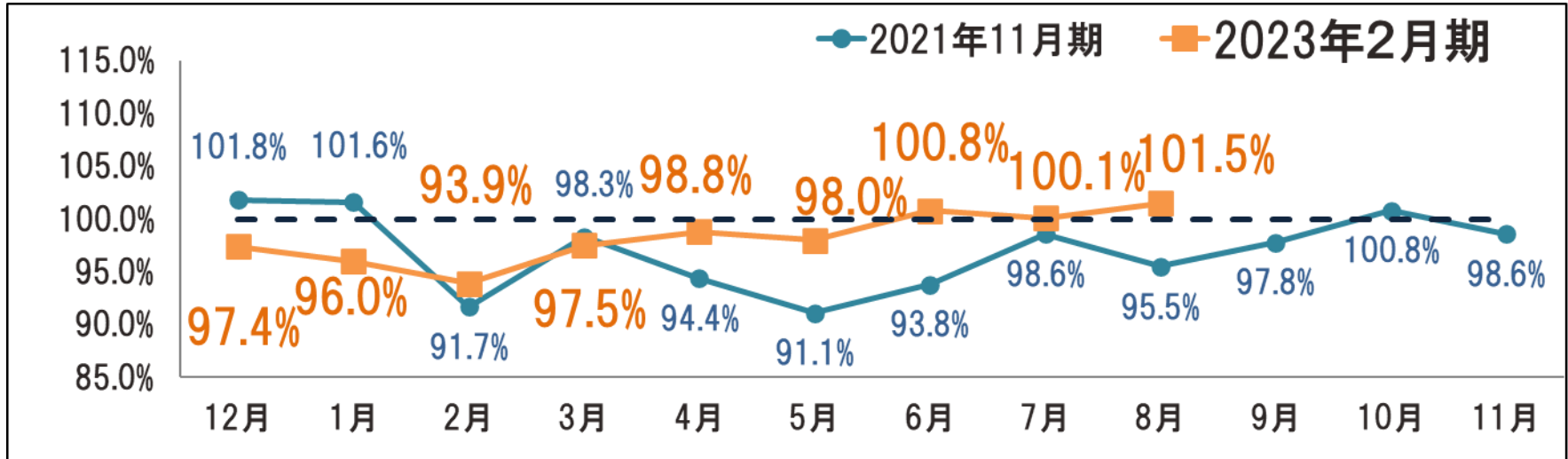
Can★Do

(証券コード:2698)

<https://www.cando-web.co.jp>

	プラス与件	マイナス与件
小売業界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染者数が抑制され、個人消費の持ち直しが見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急激な円安の進行</li> <li>・ロシア・ウクライナ情勢の長期化</li> <li>・エネルギー価格及び原材料の高騰</li> </ul>
100円ショップ業界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット販売業者の参入が困難</li> <li>・地域や商業施設からの期待値の上昇</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他業界における低価格競争</li> </ul>
当社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオングループ参入によるシナジー効果への期待値の上昇</li> <li>・他価格帯商品の取り扱い拡大</li> <li>・Instagramを中心としたSNSにおける認知・露出向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母店退店が多い</li> <li>・原価高騰による品揃えの苦慮</li> </ul>

# 既存直営店売上高 前年比推移(月次)

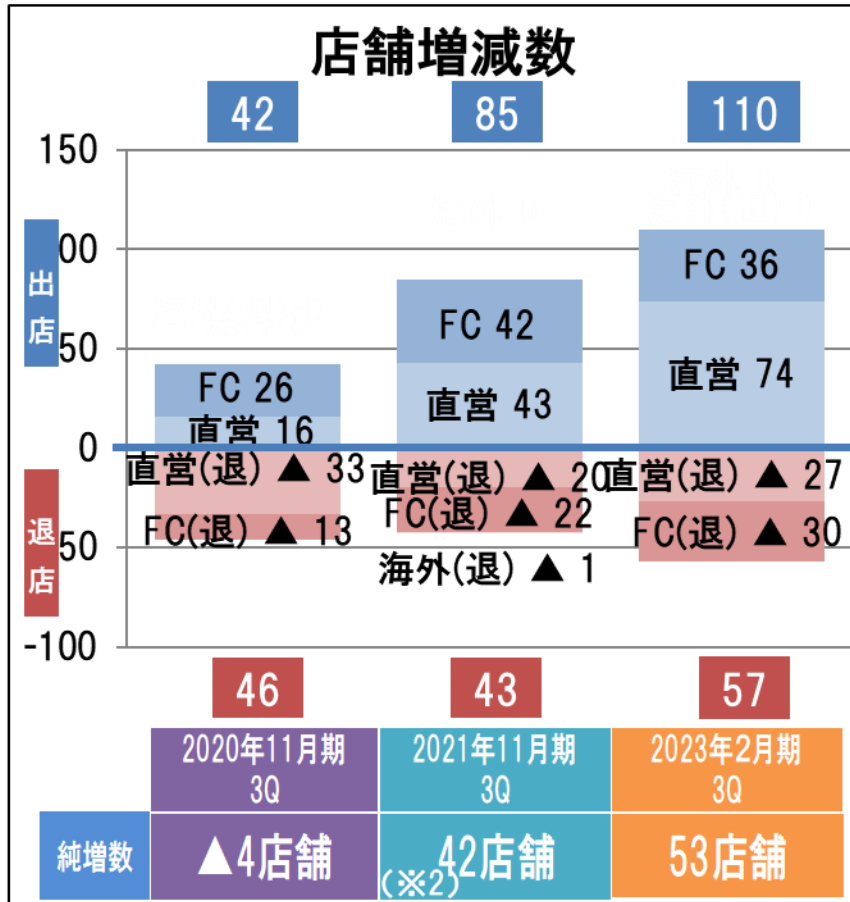


<p><b>2023年2月期</b> <b>3Q</b></p>	<p><b>6月：低温による影響</b></p> <p><b>7月：全国的に新型コロナウイルス感染者が増加 前年東京五輪開催及び緊急事態宣言下の反動</b></p> <p><b>8月：酷暑の影響</b> <b>三年ぶりの行動制限のないお盆</b></p>
--------------------------------------	---

(単位:百万円、%)

	2020年11月期 3Q		2021年11月期 3Q		2023年2月期 3Q	
	金額	率	金額	率	金額	率
売上高	55,068	100.0	55,120	100.0	54,984	100.0
売上総利益	21,100	38.3	21,079	38.2	20,909	38.0
営業利益	1,376	2.5	1,013	1.8	432	0.8
経常利益	1,443	2.6	1,070	1.9	492	0.9
親会社株主に帰属 する四半期純利益	487	0.9	299	0.5	56	0.1
一株当たり 四半期純利益	30.63 円		18.80 円		3.57 円	
会計期末 店舗数	1,046 店舗		1,141 店舗		1,233 店舗	

## 出退店数の状況



### 出店・リニューアル

- 新規出店: 110店舗 (計画: 185/通期)  
直営74店舗(委託店含む(※1))、FC36店舗
- リニューアル: 14店舗

### 退店

- 57店舗 (計画: 65/通期)  
直営27店舗、FC30店舗

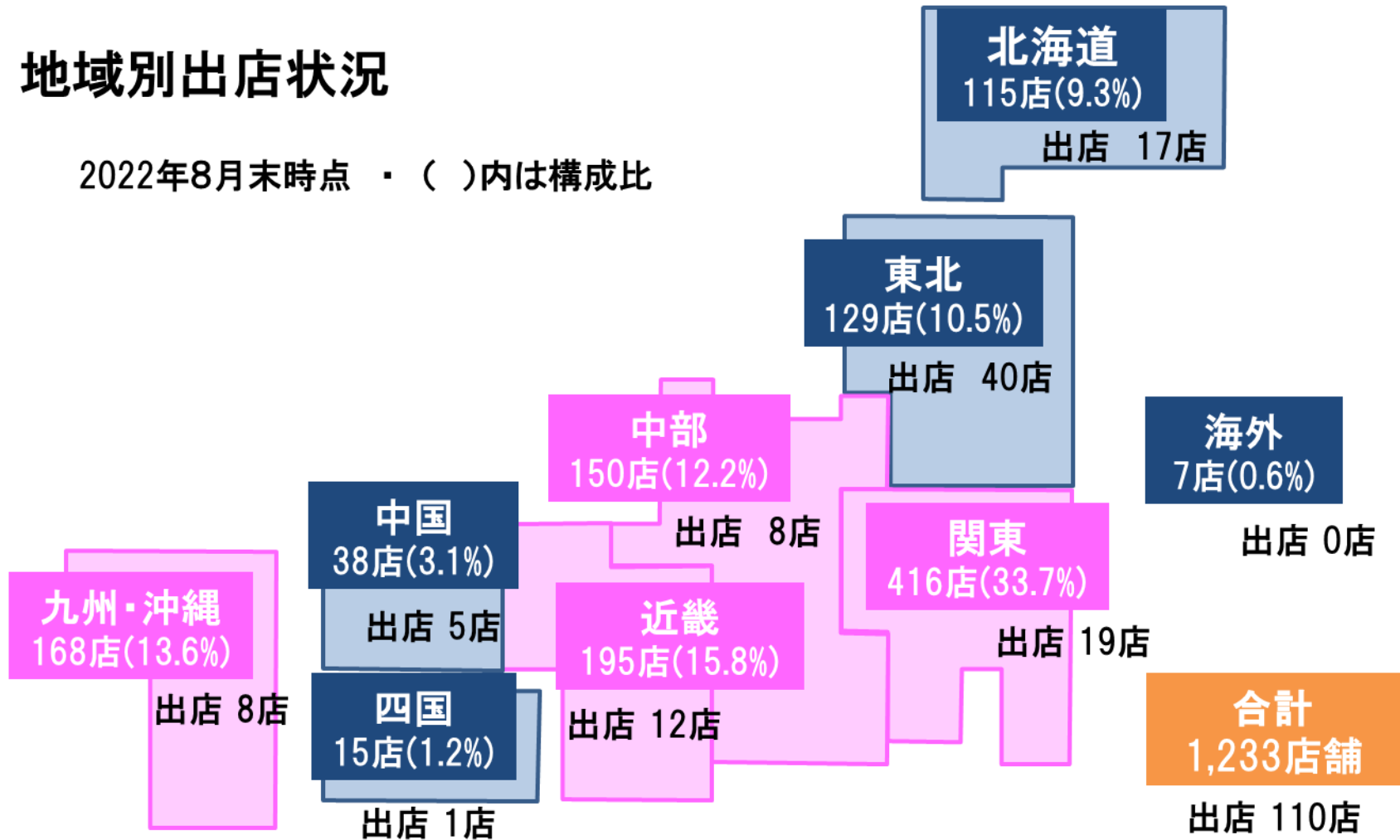
【増減】直営+47店舗、FC + 6店舗、海外FC±0店舗

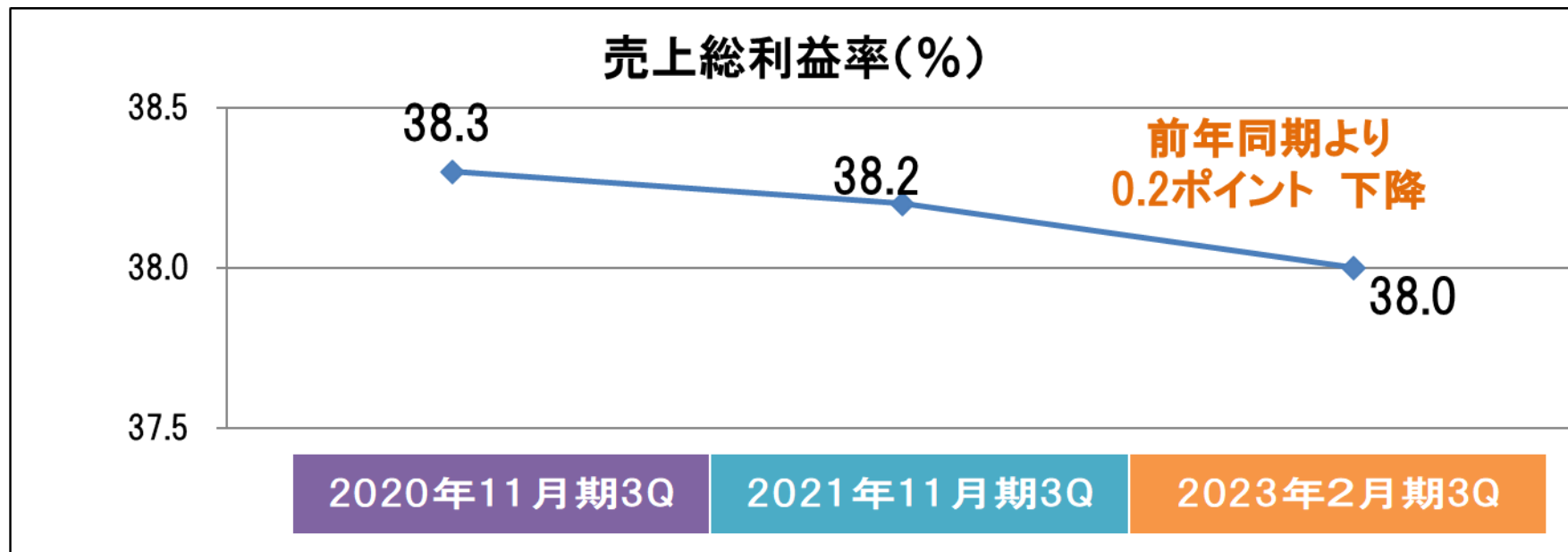
## 1,233店舗

(※1)2021年11月期2Qより売上高の拡大と収益体質の強化を目的とした、委託店舗の出店をスタートさせました。  
 (※2)売場規模が小さかった為、開示店舗数に含めていなかった、キャンドウセレクト計34店を2021年3月末より、現在店舗数に含めております。キャンドウセレクトとは、日用消耗品を中心に厳選した品揃えの店舗になります。

## 地域別出店状況

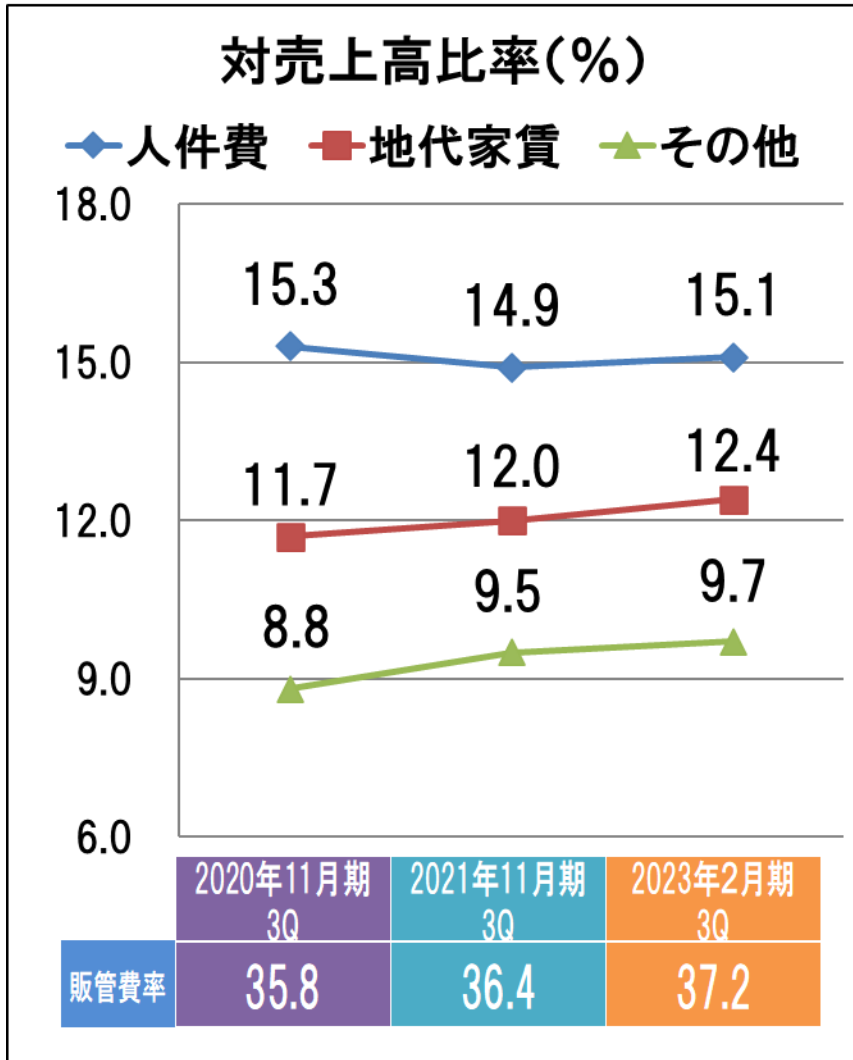
2022年8月末時点 ・ ( )内は構成比





- ### 売上総利益率の変動
- 原価高騰の影響
  - 他価格帯商品売上比率の向上

# 販管費の内訳



## 人件費

- ・外注人件費(人材派遣)の増加

## 地代家賃

- ・前年の賃料減免措置等の反動及び店舗増により比率が増加

## その他販管費

- ・水道光熱費の増加
- ・クレジット等手数料、母店販促費増

**販管費率 + 0.8ポイント**



# 設備投資の状況

キャッシュレス対応・自動釣銭機導入を継続しつつも新規出店を積極的に推進しました。また、イオングループ参入によるシナジー創出へ向けたWAON導入などを進めております。

(単位:百万円)

	2021年11月期3Q	2023年2月期3Q	増減
設備投資額	1,383	555	▲ 827
減価償却費	882	853	▲ 28

## ◆主な設備投資内訳

(単位:百万円)

	2021年11月期3Q	2023年2月期3Q	増減
直営新規出店・ 既存店リニューアル等	1,194	(※) 502	▲ 691
情報システム関連投資	189	53	▲ 135
合計	1,383	555	▲ 827

(※)1案件あたりの設備投資金額抑制施策効果も含む

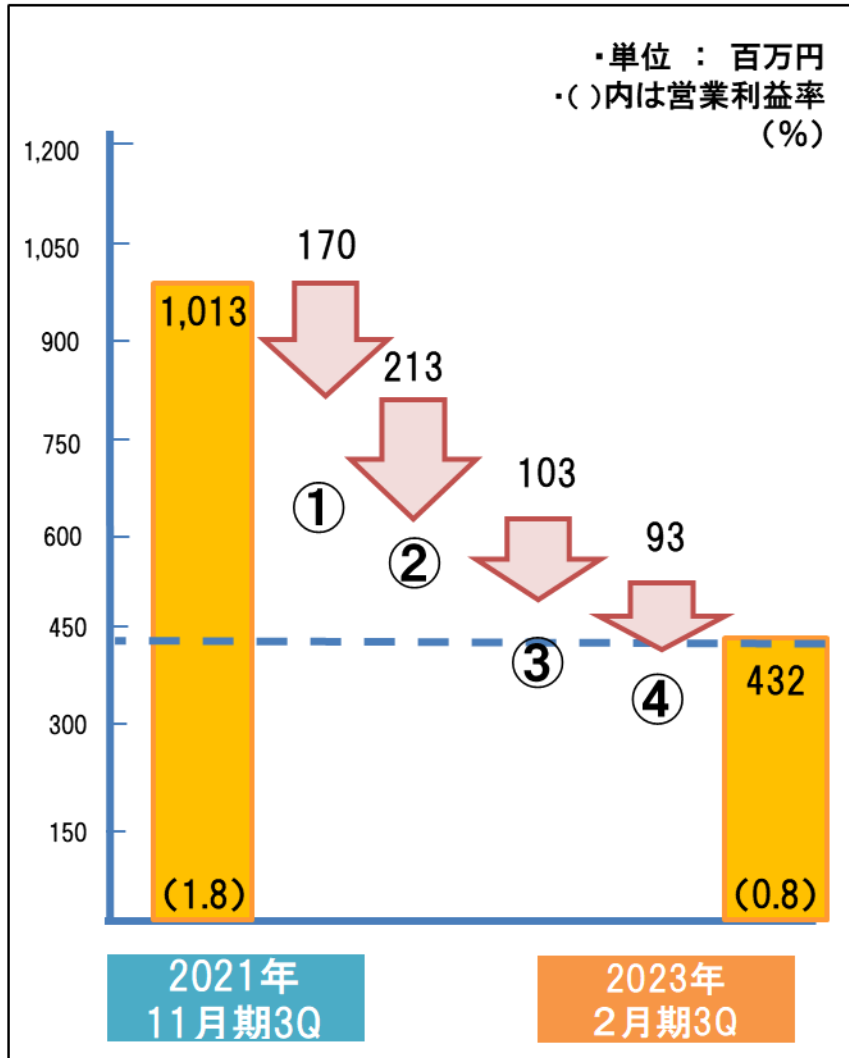
# 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)	2021年 11月期	2023年 2月期3Q	前年 増減額		2021年 11月期	2023年 2月期3Q	前年 増減額
流動資産合計	13,270	13,565	294	流動負債合計	10,816	10,582	▲ 234
現金及び預金	3,159	2,968	① ▲ 191	仕入債務	8,984	8,896	▲ 87
売上債権・未収入金	2,944	3,135	190	その他流動負債	1,832	1,685	③ ▲ 146
商品	6,525	6,857	② 331	固定負債合計	4,712	4,856	143
その他流動資産	641	604	▲ 36	退職給付に係る負債	2,326	2,456	130
有形固定資産合計	6,880	6,627	▲ 253	資産除去債務	1,801	1,850	49
建物及び構築物	5,590	5,519	▲ 70	負ののれん	209	180	▲ 28
その他有形固定資産	1,290	1,107	▲ 182	その他固定負債	375	368	▲ 6
無形固定資産合計	545	407	▲ 137	負債合計	15,529	15,438	▲ 90
投資その他の資産合計	7,347	7,231	▲ 115	資本金	3,028	3,028	0
敷金及び保証金	5,488	5,462	▲ 25	資本剰余金	3,082	3,089	6
その他投資その他の資産	1,859	1,769	▲ 89	利益剰余金	7,606	7,391	▲ 214
固定資産合計	14,773	14,266	▲ 506	自己株式	▲ 1,155	▲ 1,138	16
資産合計	28,044	27,832	▲ 212	その他の包括利益累計額	▲ 47	22	69
				新株予約権	0	0	0
				純資産合計	12,515	12,393	▲ 121
				負債純資産合計	28,044	27,832	▲ 212

※対前年増減額が大きな項目について、その主なものを以下に記載

- ① 現金及び預金の減少191百万円
- ② 商品の増加331百万円
- ③ 未払法人税等の減少51百万円

# 営業利益 前年差異分析

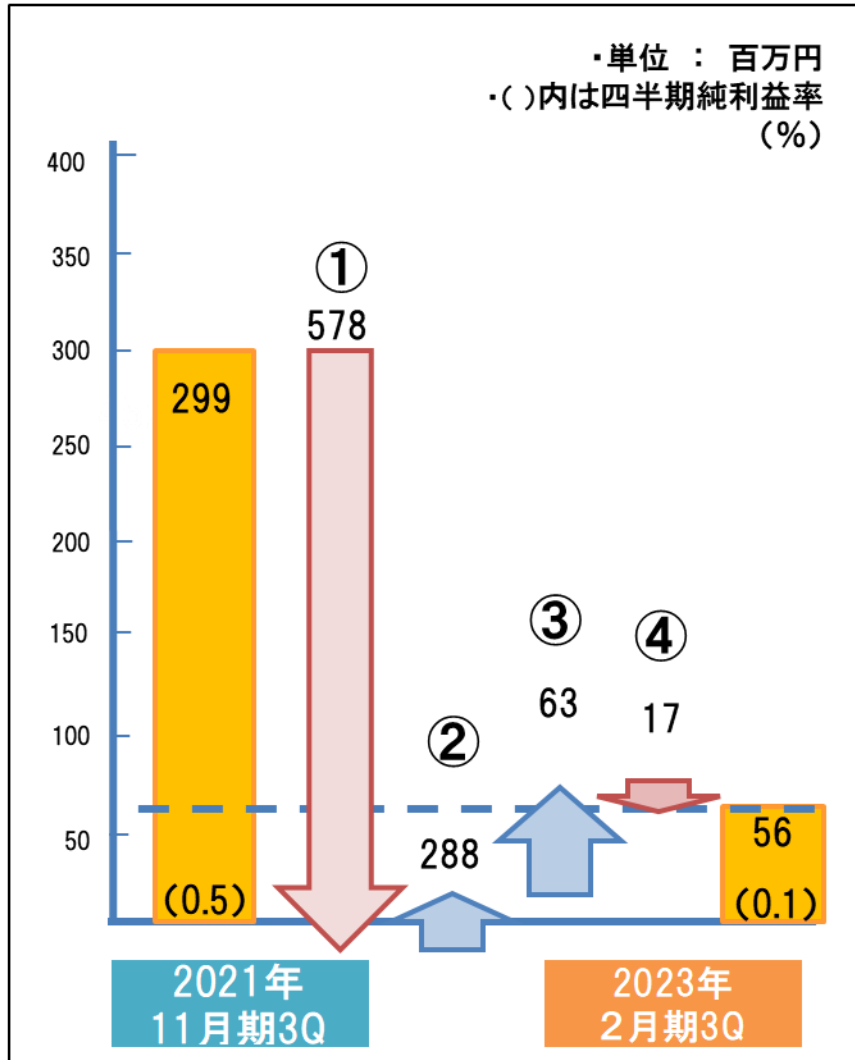


## 減少要因

- ① 売上総利益減少による部分  
(売上減×売上総利益率)  
→170百万円
- ② 地代家賃増加による部分  
→213百万円
- ③ その他販管費増加による部分  
→103百万円(保守管理費増加等)
- ④ 人件費増加による部分  
→93百万円

**581百万円の減少**

# 四半期純利益 前年差異分析



## 増加要因

- ② 特別損失減少による部分  
→288百万円
- ③ 法人税等減少による部分  
→63百万円

## 減少要因

- ① 経常利益減少による部分  
→578百万円
- ④ 特別利益減少による部分  
→17百万円

**243百万円の減少**

# 2023年2月期の取り組み

## 進捗報告

## 方針：イオングループとの協業によるお客さま満足最大化

### 「販路の拡大」

- ・従来の出店形態を推進しつつ新たな販路も開拓することでお客さまの利便性を高める

### 「商品・ブランドの差別化」

- ・お客さまから支持される商品の追求とイオングループとの調達力を活かした新たな100円ショップの創造

### 「企業価値の向上」

- ・イオングループとのシナジー創出及びデジタルシフトへの推進による収益性と企業価値の向上

3つの戦略でイオングループとのシナジーを最大化

# 2023年2月期の具体的取り組み：I

## 『販路の拡大』

## かねひで名護店 (沖縄県・2022年7月21日オープン・110坪)





# 2023年2月期の具体的取り組み：Ⅱ

## 『商品・ブランドの差別化』

## ① 100円商品ラインナップの拡充

みんなでまもろう  
地球のいきもの



グラデーショングラス



子供用コスメ



暑さ対策



## ② 他価格帯商品の拡充

ウルトラマンポーチ・バッグ  
(300円)



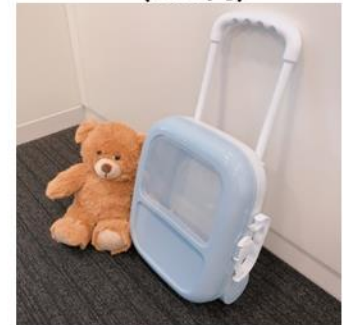
プッシュポップ  
(300円・500円)



おままごと炊飯器  
(500円)



キッズキャリーケース  
(500円)



### ③ 環境に配慮した商品

再生素材靴下



再生素材フェイスタオル



家事を減らす保存容器



洗濯洗剤詰め替え  
ワンタッチポンプ



イオングループは、環境問題やエコに対する取り組みを重要視しています。有名な取り組みとして、木を植える植樹活動があり、日本のみならずアジア各国でも展開しています。

また、「環境循環」への取り組みとして、「PB商品に環境配慮素材を使用、廃プラスチック・食品廃棄物等を再利用へ」と掲げています。

当社も、この方針に則って、環境に配慮した商品開発をして参ります。

・フォロワー数は、2022年8月現在、78万人超

・国内企業ランキングは、71位(対象10,000社超)

・お洒落な画像による商品活用シーン提案



エジプトアクセサリ



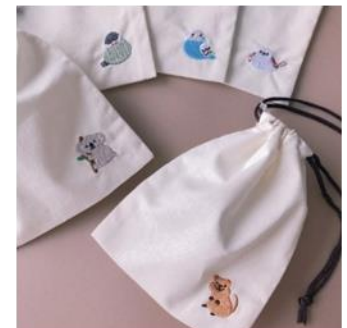
駄菓子ジッパーバッグ



ウルトラマンコラボ



刺繍キンチャク





- ・イメージ訴求のInstagramに対し、情報量を優先する Twitterですみ分け
- ・メディアで取り上げられた商品もリツイート
- ・推し活アイテムなどTwitterユーザーに親和性の高い商品を紹介

らんま1/2シリーズ



鬼太郎コラボ



エジプトシリーズ



異世界文具堂



感染防止対策に細心の注意を払い、開催をしております。  
(2022年6～8月で37回開催)



イオンモール高の原店(7月)



イオンモール扶桑店(7月)

# 2023年2月期の具体的取り組み：Ⅲ

## 『企業価値の向上』

## 企業価値の向上 進行中の案件(一例)

利便性向上

WAON導入による「イオン生活圏における  
“つながり”の創出」への参入

コスト低減

什器・備品などをイオングループとの  
共同仕入れで調達

先行投資

IT・デジタル化によるシステムの刷新



## 【 ご注意 】

本資料に掲載されている株式会社キャンドウの現在の計画、見通し、戦略、認識、評価、想定等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社キャンドウの経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、様々な重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにより全面的に依拠することはお控えいただくようお願いいたします。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い申し上げます。